



青空に映えるパルテノン神殿。2500年のときを超えて

小泉八雲の生誕の地ギリシャは
オリンピックの発祥の地でもあります。

「オリンピック」「パラリンピック」に一言



五月に開催された「五月まつり」でのメッセージ
ご協力ありがとうございました。



「ヘラ神殿」東京2020の聖火の採火式を行うオリンピア遺跡



盆踊り教室



東京五輪音頭-2020-
東京音頭ほか



東京五輪音頭 2020 に5番が新しく付け加えられたので、
その歌詞の一部をご紹介します。

ハー (ソレ)
2020年 命の盛り (ソレ トントネ)
きょうという日は きょうかざり (アチャイトネ)
きみとあしたは また会える様に
交わす言葉は ありがとう
ヨイショコリヤ ありがとう
オリンピックとパラリンピック

行事予定

- ※手づくり味噌教室
令和元年11月28日(木)
- ※日本の音曲あれこれ
令和2年1月19日(日)
- ※親子パン教室
令和2年2月23日(日)

■編集後記
2020年の東京オリンピック・パラリンピック
に向けて、今回は、オリンピック発祥の国であり、
小泉八雲の生誕の地で新宿区との友好都市レファ
ダ市のあるギリシャを取り上げてみました。

問い合わせ 大久保地域センター
TEL 03 (3209) 3961

五月まつり



多国籍食文化を訪ねて その3(その1は85号、その2は87号)

国際的な食文化の町と言われている大久保
地区に暮らしている私達の身近に、ギリシャ
料理の店があると知って取材を兼ねてその料
理を賞味して来ました。地元育ちの若いオー
ナーから、食材の一部、飲料などをギリシャ
から直輸入していることも伺いました。



タラモの入った盛り合せ

普段あまりな
じみない地中
海料理でし
が、なかなか
美味でした。ム
サカとかスブラ
キとかどこか
聞いたことあ
る料理が目
に並べられま
す。ギリシャ
を旅している気
分でいたしま
した。タラモ
という比較的
私達に馴染み
のある料理
が、付け合せ
として供され
ました。これ
は日本人の口
にもよく合
い、サラダと
してそのま
ま食べてもバ
ンにぬいても
おいしいです。



スブラキ

日本と同じように海に囲まれたギリシャでは
魚料理が多く、ヨーロッパではほとんども食
べないタコなども食卓に上るようです。
ギリシャの沢山あるアルコール飲料の
ひとつで有名であるという「ウヅ」を体
験しましたが私達には「・・・」でした。
これは香りが独特で味にもかなり癖が
あるように感じました。アニスの入った穀
物酒ですが地域ごと酒造元ごとにかなり味や香
りに違いがあると言われています。日本人でも
このお酒を特に好む人もいます。
デザートは、ギリシャに行ったら絶対食べた
らよいと言われるヨーグルトが、とても濃厚
で美味です。
オリンピック発祥の地を味わい尽くしたか
どうか？はわかりませんが、地中海料理を堪能
して来ました。



ギリシャヨーグルト

ギリシャ料理のムサカ



材料 (4人分)
なす 2本
じゃがいも 2個
ズッキーニ 3本
ひき肉 250g
玉ねぎ 1個
バター 85g
小麦粉 大さじ2と1/2
牛乳 375mL
チーズ お好みで
オリーブオイル 適量
塩・こしょう 適量

- 1 なす、じゃがいも、ズッキーニをスライスします。スライスした野菜をそれぞれ揚げる。オリーブオイルでソテーしておきます。
- 2 次にひき肉と玉ねぎのみじん切りを塩・こしょうで水分がなくなるまでしっかりと炒めます。
- 3 クリームは、熱した鍋にバターを入れ、溶けたら小麦粉を加え炒めます。温めた牛乳を少しずつ加えとろみが出たら、塩・こしょうで味を整えます。
- 4 耐熱容器にじゃがいも→ズッキーニ→なす→ひき肉の順に材料がなくなるまで重ねます。
- 5 最後にクリームをのせ塩・こしょう・チーズをのせクリームが深い金色になるまで 220℃オーブンで焼きます(約20分)。

文士達が愛した 大久保

かつて、私達の住むこの大久保地域は、たくさんの木々の緑に溢れ、田畑が点在し、春にはうぐいすの声を聞きながら人々は日々の暮らしを営んでいました。

そして、まだ名もなき文士達がその中に混じって生活するようになりました。彼らはこの大久保でなにを感じ、なにを思っていたのか・・・。

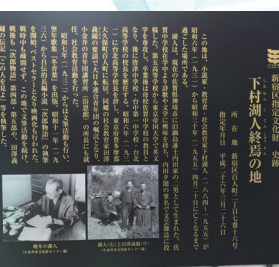
数々の残された作品の中に、おそらく彼らの思いは反映されたでしょう。大久保の地で今を生きる私達と同じ空を感じ、同じ土を踏みしめることによって。

今回は、大久保地域に居を構えた文士達を取りあげてみました。今は、ビルの立ち並ぶこんなところに・・・意外な発見です。

小泉八雲さん以外にも
みつけた
大久保文士村



大久保小学校南門横にある小泉八雲の碑



百人町 2-7にある
下村湖人の碑

下村湖人の碑

- ・岡本綺堂 小説家・劇作家
- ・明治5年(1872年)生まれ
- ・「半七捕物帳」
- ・大久保町大字百人町
- ・大正12年～?

- ・鈴木三重吉 児童文学者
- ・明治15年(1882年)生まれ
- ・「赤い鳥」「綴方読本」
- ・大久保町大字西大久保410
- ・昭和4年7月～11月
- ・大久保町大字西大久保1-461
- ・昭和4年11月～11年

- ・西條八十 詩人・作詞家
- ・明治25年(1892年)生まれ
- ・「美しき喪失」「東京音頭」
- ・大久保村大字大久保百人町
- ・明治45年～大正4年

- ・野口雨情 詩人・作詞家
- ・明治15年(1882年)生まれ
- ・「朝花夜花」「青い眼の人形」「十五夜お月さん」
- ・大久保村大字西大久保290
- ・明治39年～40年

- ・佐藤春夫 詩人・作家
- ・明治25年(1892年)生まれ
- ・「田園の憂鬱」「殉情詩集」
- ・大久保町大字西大久保403
- ・大正4年～5年

- ・国木田独步 小説家
- ・明治4年(1871年)生まれ
- ・「武蔵野」「忘れえぬ人々」「春の鳥」
- ・大久保村大字西大久保133
- ・明治40年～41年

- ・島崎藤村 詩人・小説家
- ・明治5年(1872年)生まれ
- ・「破戒」「夜明け前」
- ・大久保村大字西大久保
- ・明治38年～39年

- ・田村泰次郎 小説家
- ・明治44年(1911年)生まれ
- ・「肉体の門」「選手」「大学」
- ・大久保町大字東大久保1-428
- ・昭和11年～14年

- ・戸川秋骨 評論家・英文学者
- ・明治3年(1870年)生まれ
- ・「欧米紀遊二万三千里」「そのままの紀」
- ・大久保村大字西大久保152
- ・同 大久保百人町153
- ・同 西大久保156
- ・同 西大久保66
- ・明治40年～昭和2年

職安通りにある
島崎藤村の碑

大久保地区に暮らした文学者

レフカダ市(ギリシャ) 訪問記

大久保に住み、大久保で生涯を終えた小泉八雲ことラフカディオ・ハーンの生地、レフカダ市に行ってきました。レフカダ市は新宿区の友好都市であり、2019年にはその提携30周年にあたりますので、9月には、レフカダ市からお客様を招いて小泉八雲記念公園に於いて記念式典が行われると聞いています。

ギリシャの大学で学び、レフカダ市と縁の深い知人の紹介でカルチャーセンターを訪れました。私の属するグループでツアーを組んでの訪問でしたが、新宿から来たということで館長はじめ職員の方々から大歓迎を受けました。入り口の大きな柱には新宿区とレフカダ市の紋章が掲げられ、30の数字が見えました。ギリシャ語は読めませんが、おそらく30周年であることが書かれているでしょう。

館内を案内していただくと小泉八雲を記念する部屋がありました。「怪談」「耳なし芳一」など各国語に訳された本や写真が飾られていました。八雲はこの地で生まれましたが、両親の離婚によって3歳でこの街を離れました。それでもレフカダ市は、こ

の世界的な偉人を愛して、街の広場には彼の胸像も建てられています。街を歩いている時、青いドアの家が八雲の生家だと教えられました。市としては、記念館として保存したいと望んでいるようですが個人所有なので交渉は難航していると聞きました。今年、日本・ギリシャ友好120周年にあたるそうです。ギリシャはヨーロッパの入り口で、イランやトルコに近く、いわゆる中東、アジアの匂いもします。なんとなく親近感を感じるのはいそいそでしょう。来年は東京で「オリンピック・パラリンピック」が開催されます。そのこともあって私達はアテネから遠く離れたオリンピアを訪ねました。紀元前、初めてオリンピックが行われた遺跡ですが、今でもその名残が香っていて、オリンピック・パラリンピックの開催年ごとにテレビ鑑賞するヘラ神殿前の採火式風景を思い起こさせます。神殿跡の柱だけが、2000年の歴史を物語るように誇らしげに屹立していました。小泉八雲とオリンピックにちなんだギリシャ旅行でした。

小泉八雲公園のサポーター活動

小泉八雲記念公園のサポーターには、今22名の近隣の花好きが登録して活動しています。

毎月第一日曜日が定期活動日で、春と秋の花植え、それに伴う土おこし、雑草取りなどの作業を暑中、寒中頑張っています。それ以外にも水やり、施肥、花がら摘みなど必要に応じて活動しています。

また、春と秋の花植えには大久保小学校の3年生も参加して花壇2つ分の花を植えています。日頃土いじりの経験の少ない子ども達が出てくる虫に興味が湧きながら楽しい時間を過ごしています。

今年は町会の皆さんに声かけをしてお花見会も開きました。きれいに咲いたパンジーやノースポールに囲まれて、お茶とお菓子が盛り上がりしました。

せっかく植えた花をカラスに抜かれてしまったり野良猫のフン害で枯れたり、サポーターもあまり若くないので水やりや土おこしなどは結構負担で手が回りきらなかったり困っていますが、公園が少しでも皆さんの目を楽しませたいの場になるよう、これからも活動していこうと思っています。



大久保一丁目にある
小泉八雲公園



歌舞伎町 2-23 にある
鈴木三重吉の碑